おいでよスリジエへ

豊島区立西池袋中学校　登校支援学級「スリジエ」
転入学のご案内

豊島区教育委員会　教育センター

目次

１：スリジエ（登校支援学級）とは　１ページ

２：転入学の対象となる生徒　２ページ

３：スリジエ転入までの流れ　２ページ

４：スリジエでの生活　３ページ

５：卒業後の進路について　５ページ

６：西池袋中学校から保護者へのお願い　５ページ

７：教室配置　６ページ

８：資料　７ページ

１：スリジエ（登校支援学級）とは

（１）　設置の目的

スリジエは、登校支援学級として令和７年４月に開設した豊島区立西池袋中学校内にある学級（教室）です。スリジエへの転入学をきっかけに、集団活動を通して学習活動や友達とのかかわりをもう一度スタートしたい生徒を応援します。

（２）　スリジエが目指す生徒像（教育目標）

教育目標：「やさしく　つよく」
～やる気に火がつき、意欲的に、楽しく学ぶ～

ワクワクする学校　　**安心・信頼・ウェルビーイング**

スリジエでの教育活動は不登校になった生徒が通いやすいよう、学習指導要領をふまえ一人ひとりに対応した学習内容や学習方法に加え、ゆとりある生活時程を実現し、生徒の心に寄り添うための工夫や配慮がされています。生徒の状態に応じて心の安定を図りながら適切な学習支援による基礎学力の向上と集団的・体験的な学習や活動の機会を多く取り入れ、社会性を養うことで自己理解を深め自信をもって生きることを目指します。

勉強したい！
自分をわかってほしい
友達と遊びたい
安心できる環境が欲しい

学校に行きたいけど今の学校に行けない
教室に入れない
今の状況では卒業後の進路が心配
自分を変えたい

２：転入学の対象となる生徒

（１）　転入の条件

原則、以下の４点に当てはまる児童生徒を対象とします。

①　「スリジエで学びたい」という気持ちがある豊島区立学校に在籍または豊島区在住の児童生徒（児童は翌年度に中学１年生になる小学６年生が対象です。入学は翌年度です。）

②　何らかの心理的、情緒的、身体的若しくは社会的要因又は背景によって、年間３０日以上出席しない又はすることができない状況にある不登校の児童生徒

③　教育支援センター(適応指導教室)「柚子の木教室」に通うことができた後に設定されるスリジエの体験入級（１０日間程度）で、６割以上登校できる意欲のある児童生徒

④　入級審査会（教育委員会及び学校関係者等が出席）で「スリジエに通えること」、「入級が適切である」と判断された児童生徒

※体験入級中の出席状況や活動の様子、在籍校や教育センターからの情報等を基に判断を行います。

（２）　スリジエで不登校の改善ができそうな生徒のタイプ

①　本人に「スリジエに通いたい」という気持ちや目的があり、ある程度の集団なら参加できる。

②　「人とかかわりたい」「勉強したい」という思いがある。

③　ほかの生徒や教職員と交流ができ、一緒に食事が摂れる。

④　自分で、または保護者等の協力があれば通学することができる。

（３）　スリジエで不登校の改善が難しい生徒のタイプ

①　本人に「スリジエに通いたい」という気持ちや意欲が出てこない。

②　他の生徒の生活を阻害したり友達関係に支障をきたしたりするような発言や行動をする。

③　生活指導上に著しく課題がある（暴言暴力、染髪、ピアス、服装や生活の乱れなど）。

④　通常の学校生活が困難なほどの心身の状態である。

（４）　保護者の皆さんへのお願い

スリジエに転入することがゴールではなく、転入してからが本当のスタートです。転入後も保護者と学校が密に連絡を取り合い協力していくことがお子さんの成長の支えになります。ご家庭でも協力をお願いいたします。

①　スリジエの設置目的や指導方針をご理解ください。

②　お子さんの気持ちや行動、必要な支援について学校と共通理解をしてください。

③　「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身につくようにしましょう。

④　ご家族も焦らずお子さんに合った成長や進路について学校と一緒に考えていきましょう。

⑤　保護者会や三者面談などはできるだけご出席ください。また学校行事やボランティアなどにも積極的に協力いただくことでお子さんの理解が進みます

⑥　お子さんが通う学校が遠くなることは、保護者の負担も大きくなることを十分ご理解ください。

３：スリジエ転入までの流れ

①　保護者説明会への参加

毎年、説明会・見学会を実施しますのでスリジエの概要を知ることができます。親子で参加いただくとイメージがつきやすいです。また、並行して在籍校での登校支援について在籍校とよく話し合ってみることも重要です。今の学校でできることをよく話し合うことで不登校の改善につながる可能性があります。

②　在籍学校での面談とスリジエ入級申請書の提出

今の学校とよく話し合い手立てを試みたが改善が難しく、本人がスリジエに行きたいと思ったら在籍校の担任または管理職へ伝えて面談を行い、スリジエ入級と柚子の木教室の入級申請書に記入してください。面談後は速やかに柚子の木教室見学の申し込み及び教育センターへ申請書を提出してください。申請書の受理をもって申請完了となります。

③　柚子の木教室への通級

申請受理の後、教育センターから面談日程について連絡・調整をします。指定日に教育センターへお越しいただき、柚子の木教室入級（体験入級前支援）について面談および見学をします。面談終了後に自らの計画とペースで柚子の木教室での体験がスタートします。体験入級前支援は生徒の状況によって異なりますが概ね１か月程度を想定しています。「早く入りたい」という気持ちは大切ですが急ぎ過ぎないことが肝要です。

④　意向確認

柚子の木教室にある程度通室でき、スリジエでの体験に進めそうな状況が確認できたところで、体験入級の意向確認のための面談を行います。教育センター担当者と本人、保護者とで本人の意向を確認し、次の段階に進みます。

⑤　スリジエでの体験入級

柚子の木教室での支援を受けた後は、場所をスリジエへ移して体験入級がスタートします。初日は担任との面談や施設の利用方法などを確認します。その後はではスリジエの他の生徒と同じ生活

時程で過ごし、学習や生徒との交流、給食、校内教育支援センター「道の駅」（以下、道の駅）利用などを体験します。生徒の状況により異なりますが、第二段階の体験期間は概ね 10 日間程度です。ここでも焦りは禁物です。

⑥ 体験入級後の意向確認

体験を通じ転校してやっていけそうな状況かスリジエ担任が確認します。体験終了後には意向確認のための面談を本人、保護者と関係者で行います。

⑦ 入級審査

体験入級後、西池袋中学校・在籍校の教職員、教育センター職員で入級審査会を行います。入級審査の結果は教育センターから保護者に連絡します。転入が適していると判断されれば、転入の手続きに進みます。転入日確定後にできるだけ速やかに保護者が転出転入手続きをします。

また、支援ができるだけ途切れない様にするため、体験終了後から転入日までは柚子の木教室に通うことができます。

４：スリジエでの生活

（1）　１日の時程

生活時程	スリジエ	西池袋中
９：２５～９：４０	登校・朝学活	１校時
９：４５～１０：３５	１校時	２校時
１０：４５～１１：３５	２校時	３校時
１１：４５～１２：３５	３校時	４校時
１２：３５～１３：０５	給食	給食
１３：０５～１３：２０	昼休み	昼休み
１３：３０～１４：２０	４校時	５校時
１４：３０～	学活・清掃・下校 または５校時	６校時
		学活・清掃・下校

① ９時 25 分スタートです

朝学活は９時 25 分に始まります。今までの学校より遅い時間のスタートです。また、この時間に登校できなくても大丈夫です。自分のペースで登校しましょう。

② 自分のペースで学力を伸ばしましょう

担任は、生徒に寄り添いながらわかりやすい授業をします。実技系の授業もあります。授業に参加することが基本ですが、コンディションが整わない時は無理をせず、保健室や相談室の他、道の駅も利用できます。

③ 行事にも参加しましょう

体育祭や音楽祭、入学式、卒業式など西池袋中学校の行事に参加します。修学旅行も西池袋中学校と一緒に出掛けます。それ以外にスリジエ独自の活動もあります。

④ 西池袋中学校の中にある利点を活かしましょう

スリジエでは西池袋中学校の中にある利点を活かし、委員会や部活動などにも参加できます。校庭や体育館、プール、図書室、家庭科室、技術室などすべてそろっており、授業や活動で使うことが可能です。

（２）　授業について

① 一斉授業を基本としますが、一人ひとりに応じた学習のレベル、学習量、学習のスピードで指導できるように授業を行います。

② 教科担当が中心となって個別の指導計画を立てたりや教材を準備したりして、小学校低学年の学習内容までもさかのぼって学習ができる指導体制にしています。

③ 専門の教科ではない担当教員もその授業指導に入って学習をサポートします。

④ 生徒の目標設定に応じた教育環境があります。

1. 進学コース　　都立全日制、私立一般を目指します
2. スリジエコース　　都立定時制、チャレンジ校、サポート校を目指します
3. 道の駅コース　　メンタルケアや生活習慣の調整を目指します

（３）　学習内容

安心して学校生活を送れるよう、ゆとりある時数を設定しています。()は西池袋中学校の標準時数)

教科	第１学年	第２学年	第３学年
国語	７０（１４０）	７０（１４０）	７０（１０５）
社会	７０（１０５）	７０（１０５）	７０（１４０）
数学	７０（１４０）	７０（１０５）	７０（１４０）
理科	７０（１０５）	７０（１４０）	７０（１４０）
音楽	３５（４５）	３５（３５）	３５（３５）
美術	３５（４５）	３５（３５）	３５（３５）
保健体育	７０（１０５）	７０（１０５）	７０（１０５）
技術・家庭	３５（７０）	３５（７０）	３５（３５）
外国語	７０（１４０）	７０（１４０）	７０（１４０）
小計	５２５（８９５）	５２５（８７５）	５２５（８７５）
特別の授業 道徳	３５（３５）	３５（３５）	３５（３５）
スリジエタイム（総合）	１０５(５０)	１０５(７０)	１０５(７０)
特別活動	３５(３５)	３５(３５)	３５(３５)
合計	７００（１０１５）	７００（１０１５）	７００（１０１５）

（４）　居場所の利用（西池袋中学校と一緒に使います）

①　道の駅

授業に出られないときに気持ちを切り替えたり、友達と遊ぶことで元気を取り戻したりしたいときに、いつでも利用できる場所です。専任の支援員が遊びや自学自習などに関わります。

②　保健室

西池袋中学校内にある保健室を利用します。体調や気分が優れない、怪我をした際など養護教諭が対応します。

③　相談室

個人での相談に応じられるようスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが来校しています。おしゃべりや相談に乗ってもらうことで気持ちをリフレッシュできます。

（５）　服装や持ち物

体験時の服装は前籍校のもので構いません。入級後は西池袋中学校の標準服を準備してください。卒業式など儀式的な行事もありますので普段から中学生らしい服装を心掛け、私服も華美になりすぎずＴＰＯに合わせましょう。

（６）　特別支援教室　Ｓ－ＲＯＯＭ（巡回）

集団生活において、見る・聞く・話す・集中するや気持ちの理解などが苦手な生徒を対象に週１～２時間で個々の課題に沿った指導を受けることができます。

※教科学習の補充は指導の対象外です。利用には手続きが必要です。

※利用にあたり条件がありますので、お子さんの成長や発達が少し気になったら在籍校にご相談ください。

（７）　令和８年　年間行事予定（西池袋中学校）

４月	１学期始業式　着任式
５月	生徒総会　運動会
６月	第１回定期考査　２年校外学習　水泳指導開始
７月	１年宿泊校外学習　職業体験　芸術鑑賞教室　１学期終業式　夏季休業　水泳指導終
８月	夏季休業　夏季スマートデイ
９月	２学期始業式　第２回定期考査　修学旅行　道徳地区公開講座
１０月	音楽鑑賞教室　３年進路面談
１１月	第３回定期考査
１２月	２学期終業式　冬季休業
１月	３学期始業式　１年校外学習
２月	２年スキー教室　第４回定期考査
３月	文化発表会　卒業式　大掃除　修了式　春季休業

※他にスリジエ独自の行事があります

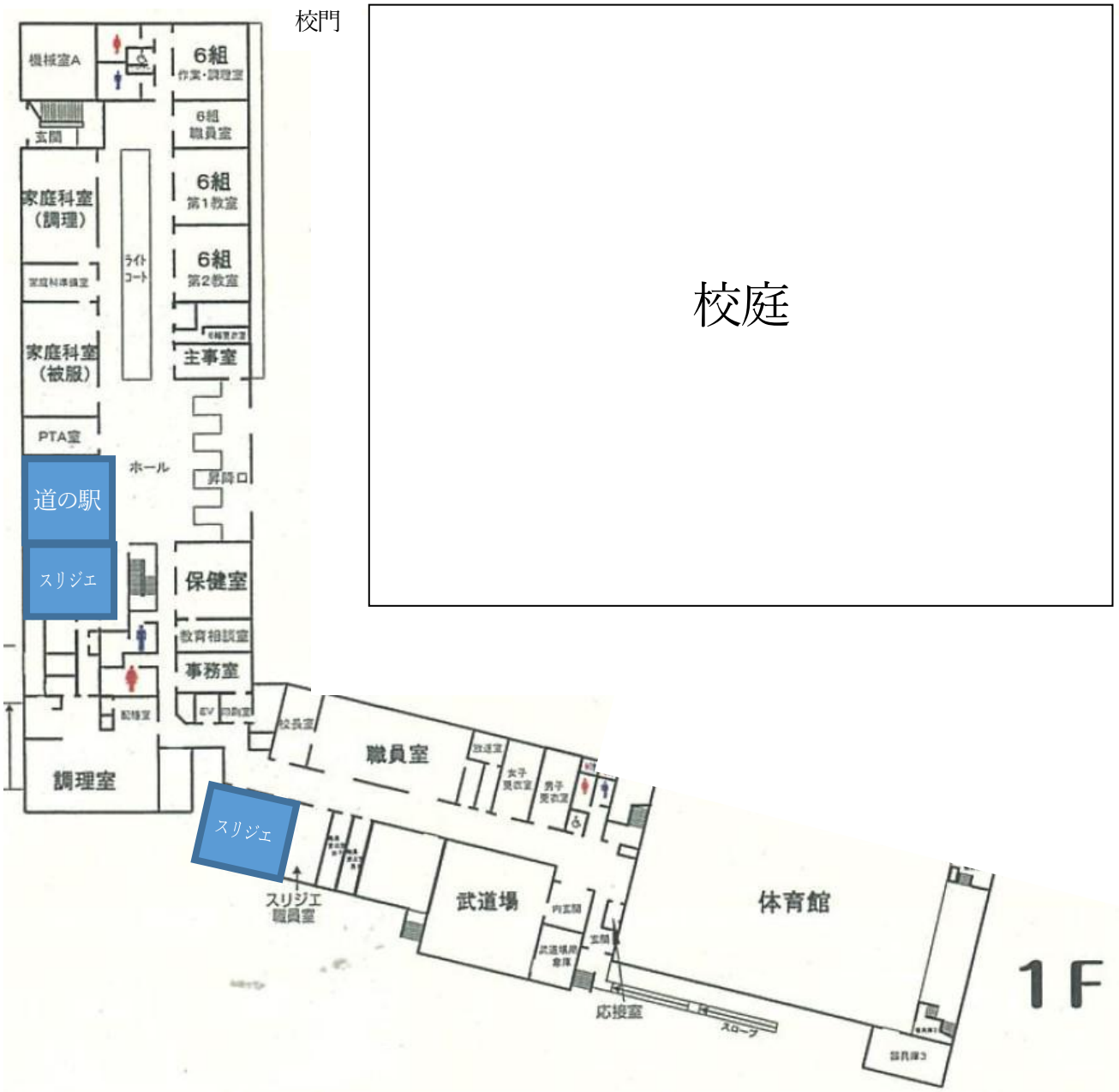
５：卒業後の進路について

令和７年度　都立　単位制　２名（進学率１００％）

６：西池袋中学校から保護者へのお願い

多くの大人が寄り添ってくれる、居場所がある、自分のペースで学習ができる、参加の仕方を選べるなどスリジエには他の学校にはない過ごしやすさがあります。しかし、お子さんによっては過ごしやすさが逆効果になったり、混乱の原因につながったりすることもあります。スリジエの特色がお子さんに合っているか、転入学の前に親子で十分に話し合ってください。また、特別な配慮はあっても西池袋中学校は４００名以上の集団です。スリジエの中だけでなくお互いの違いや事情を尊重しながら学校生活を送ることが大切です。

７：教室配置



スリジエ学習室

道の駅

８：資料

（１）　西池袋中学校

住所：豊島区西池袋４－７－１　　電話/FAX：０３－３９８６－５４２７／０３－５９５１－３９０７

（２）　スリジエの由来

「スリジエ」（cerisier）とは、フランス語で「桜の木」を指します。豊島区がソメイヨシノ発祥の地であり、区の木に指定されていること、花言葉に「私を忘れないで」「よい教育」「心の美しさ」等の意味があることから、「子どもの声に耳を傾け、誰一人取り残さない教育を実現する」という思いを込め、命名されました。

（３）　豊島区内各相談窓口

・スリジエ　　：０３－３５９０－１２５１
・柚子の木教室　　：０３－３５９０－１２６０
・教育相談　　：０３－３９７１－７４４０

（４）　柚子の木教室

悩みごとや心配ごとがあって、学校に登校できないでいる小中学生のみなさんを対象とした教室です。学習やスポーツ、体験活動等を行います。

（ア）アクセス　豊島区雑司が谷３－１－７　千登世橋教育文化センター２階
東京メトロ副都心線雑司が谷駅直結（2 番出口）
都電鬼子母神前徒歩２分
JR 山手線目白駅徒歩８分／池袋駅徒歩 15 分
バス【池 65・86 系統】千登世橋停留所徒歩１分　【白 61 系統】鬼子母神前停留所徒歩３分

（イ）対象：このような小中学生がかよっています
・豊島区立学校に在籍、または豊島区在住で、学校に行くことができていない小中学生。
・本人と保護者が学校と十分相談し、通級を希望する小中学生。
・※原則として、小学生は保護者の送り迎えが必要です。

（ウ）基本的な一日の生活

９：００～１１：４５	自学自習　ギター教室（火曜）　ＳＳＴ（水曜）
１１：４５～１２：２０	昼食
１２：２０～１２：５５	スポーツ
１３：００～１５：３０	自学自習　体験・制作活動（不定期）

来室したら用紙を受け取り、一日の予定を記入します。

一日過ごす中で、その都度、実際の活動を記録していきます。退室前に「ふりかえり」を行います。

(エ) 主な活動

① ＳＳＴ（ソーシャル・スキル・トレーニング）

所属する精神保健福祉士や心理士の指導により、より良好な人間関係を構築するための技能を身につけ、自信を持って社会で生活できるようになることを目標にしておこないます。(原則毎週水曜日の午前中に実施)

② 各種体験活動

園芸作業、調理体験、ギター教室、外部施設の見学、移動教室など、さまざまな体験の場を設けていきます。(不定期実施)

③ 制作活動

さまざまな創作作品を制作します。制作をとおして精神的な安定を図るとともに、自己効力感を高めます。(不定期実施)

(オ) 進路指導

児童生徒が自分を見つめ直し将来を考える機会として、主に中学３年生を対象に進路相談をおこなっています。１学期の進路学習会では、進路についての自覚を促すとともに、夏休みまでに取り組む課題を示し、今後の進路選択に向けて計画的に取り組めるよう支援します。

２学期以降は、都立チャレンジスクールについて、面接の受け方や作文の書き方の支援もしています。また、夏季休業中に実施される「進路懇談会」では、都立チャレンジ校・通信制高校・サポート校の先生のお話や、本教室卒業生の受験体験談を聞くことができ、進路選択について具体的な情報を得ることができます。

(カ) バーチャル柚子の木(バーチャル・ラーニング・プラットフォーム)

柚子の木教室では、東京都教育委員会との連携で開設された仮想空間「バーチャル柚子の木」で、利用者相互のコミュニケーションを図っています。「バーチャル柚子の木」運営時間中は、東京都のオンライン支援員と、柚子の木教室職員が常駐支援をしています。運営時間内であれば、区から配布されたタブレット PC を利用して家庭から参加することも可能です。